様式１

達成度：H29.3.31 の自己評価
５　目標を完全に達成した。
４　目標を概ね達成した。
３　目標を一部達成した。
２　目標をほとんど達成できなかった。
１　目標をまったく達成できなかった。

農業委員会事務局の目標（平成２８年度）自己評価書

農業委員会事務局長　芝野　芳弘

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は 達成できなかった理由等
１　農業委員の専門知識の修得による活動支援 農業者の代表である農業委員としての知識を深め、農地を守るという任務と役割を理解、促進などにより農家の世話役となることを目的として、千葉県農業会議及び千葉県等の主催による研修会への積極的な参加とともに、農業委員会主催による研修についても、今まで以上に充実したものとします。	4	１０月１４日　ブロック別農業委員研修会 ２月　９日　笠間クラインガルテン ２月１０日　とまとランドいわき
２　法改正への柔軟な対応 農業委員会等に関する法律が改正され、平成２８年４月１日に施行されたため、現任期（平成２９年７月１９日）終了後は、これまでの選挙制から議会同意を要件とする市町村長の任命制に変わりました。 また、担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の地域における現場活動を行うため、農業委員会が新たに「農地利用最適化推進委員」を選任することとなり、農業委員・農地利用最適化推進委員の定数については、政令で定める基準に従い、条例で定めることになりました。 ついては、近隣市町から情報を収集しながら条例を定め、来年に向けた体制整備を行います。	4	「酒々井町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例」や「酒々井町農業委員会の農地利用最適化推進委員の選任に関する規則」等を制定するとともに、ホームページや広報、回覧等により農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の公募を行いました。
３　農業振興策の策定 遊休農地の対策や担い手育成支援などについて、経済環境課と連携し町の実情に合った農業施策を策定していきます。	3	施策の策定にあたり、農家等のヒアリング対象の洗い出し・基礎データ作成を行いましたが、施策の策定までには至りませんでした。